

今晚、わたしたちは光の祭儀をもってこの復活徹夜祭の典礼儀式を始めました。復活徹夜祭は、十字架の死の闇を切り開いて復活された主イエス・キリストが、わたしたちすべての者のためにもたらされた、新たな過ぎ越し、神の決定的かつ絶対的な救いのみわざを大いなる喜びのうちに祝う、古くからの教会の典礼儀式です。

ローソクに灯りを灯し、手に手に灯されたローソクの光を持って大勢の人々が祈りをささげる光景は、大きな災害が繰り返されるたびに、どこでも目にするものとなっています。今晚、わたしたちはその人々の祈りに結ばれて、この復活徹夜祭の光の祭儀に与りました。闇の中で祈る全ての人々を照らすべく、十字架の死の闇を切り開いて復活されたイエス・キリストがもたらされた希望の光がこの世界に輝いていることを、わたしたちは信じています。主イエス・キリストの復活の光を象徴する、復活の大きなローソクからわたしたちが掲げ持つそれぞれのローソクに分け与えられた光は、イエス・キリストの復活によって闇の中にあるわたしたちの中にもたらされた、新たないのちへの希望の光の象徴です。

わたしたちが手にしたこの希望の光が、どのようにして、わたしたちのうちに灯されたのかということ、カトリック信者としてのわたしたちは決して忘れてはなりません。わたしたちのうちに灯されたこの希望の光は、人間であるわたしたちが、自分たちの過去の経験の中から拾い集めた火種によって灯される光ではありません。「なるようにしかならない」という居直りと、「なるようになる」という希望的観測をもってしては、決して切り開くことの出来ない、闇に閉ざされた行く手に、今この国のわたしたちは向き合わされています。わたしたちが信じる主イエス・キリストの復活を象徴する、わたしたちが手にしたこの復活徹夜祭の光は、そのような闇を前にたじろぐわたしたち全ての者に、神のみがもたらすことの出来る希望の光です。そしてそれは、神自らが、十字架の死とその死からの復活をもって、わたしたちの全ての闇の壁を突き崩すことによってもたらしてくださった天からの光です。

今晚、この復活徹夜祭のミサで、今年も新しい受洗者の方々を迎えて、洗礼の秘跡が施されます。洗礼の秘跡の恵みに与るということは、主イエス・キリストの十字架の死と復活において示されている、死の闇からいのちの光への、主の過ぎ越しに与るということです。それゆえに洗礼を受けるのに最もふさわしい時は、教会が主の過ぎ越しを祝うこの復活徹夜祭なのです。旧約の神の民が毎年この季節に過ぎ越しの祭りを祝って、出エジプトの、彼らにとっての神の

決定的、絶対的な救いのみわざを記念し祝ってきたように、教会は、主イエス・キリストの十字架の死と復活を通して、全ての人に開かれた過ぎ越しの祭りを祝います。キリスト教の信仰を受け入れてキリスト者となるということは、神がイエス・キリストの十字架の死と復活を通して、全ての人に開いてくださった、この死から新たないのちへの過ぎ越しを、自分の人生の新たな土台として受け入れるということです。

洗礼を受けることによって、わたしたちが新たに歩み始めるカトリック信者となった者たちとしての日々は、主イエス・キリストの十字架の死と復活の、過ぎ越しの神秘によって灯された希望の光を頼りに歩む日々です。わたしたちの人生の日々が、たとえどのように長く苦しい闇に覆われても、洗礼によって与えられたこの希望の光が、わたしたちのうちに消えてしまうようなことがなければ、わたしたちはこの世の人生のあらゆる闇に打ち勝って、永遠のいのちの光の世界に向っての過ぎ越しの旅を歩み続けること出来るのです。それゆえに、洗礼によって始まるわたしたちのカトリック信者としての新たな日々は、洗礼によって与えられた、新たないのちの希望の光に導かれた、わたしたちを包む闇の力との戦いと日々とならなければなりません。洗礼によって与えられた、一時の喜びの興奮によって、わたしたちを包む闇の力を侮ってはなりません。わたしたちを包む闇の力は、神を信じる者とされた私たちの力よりもはるかに強いのです。けれども洗礼によって神の子とされたわたしたちは、わたしたちを包む闇の力に怯え続けなければならない人間の宿命から解放されているのです。イエス・キリストの十字架の死と、その死からの復活によって新たにされた過ぎ越しの神秘に与るといふことはそのようなことです。わたしたちの人生の行く手が、人間である私たちには逃れるすべのない死の闇に覆われたものであるとしても、イエス・キリストの十字架の死と、その死からの復活によって示された、神のみが与えることの出来る新たないのちの力は、その闇の壁を打ち崩す力です。洗礼がわたしたちに与えるのは、単に、わたしたちを覆う闇の道を歩み通すための一時の希望の光だけではありません。洗礼によって神がわたしたちの中に注ぎ入れられてくださるのは、わたしたちを覆う全ての闇を打ち払うに足りる力を秘めた、新たないのちなのです。わたしたちを包む闇の力に屈して、神を信じるが出来ないでいるわたしたち全ての者のために、神はあらゆる闇の力に打ち勝つその全能の力の証として、十字架につけられて死んで墓に葬られたイエス・キリストを、全ての闇の力からわたしたちを解放するわたしたちの救い主として、死者の中から復活させてくださったのです。ここに、洗礼によって、神がわたしたちに与えてくださるいのちに満ちた光の源があります。洗礼によって新たに歩み始めるわたしたちのカトリック信者としての歩みは、絶えず、この光の源に立ち帰ることを目指さなければなり

ません。そうすることによって、カトリック信者としてのわたしたちの信仰の歩みは、その都度わたしたちの身近に迫ってわたしたちを脅かす闇の力からわたしたちを解き放つ、信仰による、死の闇からいのちの光への過ぎ越しの旅となるのです。その光の道を歩み通す恵みを、今日洗礼の秘跡の恵みに与る兄弟たちの上に、そしてここに集うわたしたち一人ひとりの上に願って、更には、人生の闇の中で苦しんでいる全ての人々の上に祈り求めつつ、わたしたちを照らす光の源である、復活の主を喜び迎えたいと思います。

カトリック高円寺教会  
主任司祭 吉池好高